

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部地域づくり課		■担当係	地域協働係
■評価事業名称	人口減少地域定住化促進事業費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090100 - 155	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	02 魅力ある地域づくりの推進		
	■施策	02 地域が連携し共生するまちづくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分				
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	人口減少地域の地域づくり組織及びNPOを対象とした定住化に関する事業を公募し、その事業に対し補助金を交付することで、定住化を促進するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	人口減少地域定住化促進事業		人口減少地域で実施する定住化促進事業への助成	OU・I・Jターン希望者受け入れ体制の整備 実施主体: 黒岩自治振興会 補助金額: 700千円 ○子育て応援宣言の里たちばな 実施主体: 立花自治振興協議会 補助金額: 404千円 ○いきいきわさき定住化促進事業 実施主体: 岩崎地区自治振興協議会 補助金額: 1,250千円

3. 投入コスト情報

(単位: 千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	2,704	2,721	7,732	2,356	
人件費	1,741	2,309	300	305	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,445	5,030	8,032	2,661	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

1地区において、今年度実施分を来年度実施としたものの、事業期間内に完了する見込みである。

問題点・課題等

事業実施期間においても、地区の高齢化・人口減少は進んでおり、それに伴い新たな課題が発生してきている。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
- ☐ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- ☐ 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- ☒ 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- ☐ 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- ☒ 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- ☐ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- ☐ 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☒ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☒ 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

人口減少を前提条件としたうえで、課題解決や地域の魅力等の発信に資する事業の実施を検討する。

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☐ II. 継続
- ☐ III. 縮小
- ☐ IV. 廃止・休止
- ☒ V. 完了